

5月給食だよ!

おひさま岡町保育園
給食室
2024.5.1

こどもたちの思いが溢れた給食の時間

新しい環境になって、1ヶ月が経ちました。

つくしぐみ、れんげぐみのこどもたちは、離乳食を食べ“おいしいよ〜”と、笑顔になったり、“もっとちょうだい”と、手を動かしながら伝えている姿があります。思いをたくさん出して、大人との心地よい関係の中で、安心して食べられる給食の時間を大切にしています。

なのはなぐみのこどもたちは、“すみれのときは、たけのこ食べられへんかったけど、食べれた。おいしい!”と自身を振り返り、大きくなった自分を感じている姿がありました。4月は、どのクラスも進級の喜びが食べる意欲につながっている姿が見られましたよ。そんな姿が給食をつくる私たちの喜びにもつながった1ヶ月でした。

月に1度のお誕生日メニュー

毎月のお誕生会の日、給食が特別メニューになります。

誕生児が特別な日と感じられるように、幼児(なのはな〜ひまわり)のこどもたちが給食のメニューを決めています。自分たちの好きなメニューを出し合うと、中にはそれが苦手な子もいて、一筋縄ではいかないこともあります。みんなでいろんなメニューを出し合い納得いくまで話し合っています。“いつメニュー決めるの〜?”と、もう次の誕生児が楽しみにしている姿があります。

乳児のこどもたちには目で見て特別が感じられるように、その月にこどもたちが大好きなものをおにぎりで表現しています。すみれぐみは誕生児と一緒に決めています。4月はお花のおにぎりでした。お歌を歌いながら春を感じてみんなで食べましたよ。

これからも、こどもたちがわくわくドキドキするような特別な給食を考えていきたいと思っています。

みんなでクッキング♪

今年度も、昨年に引き続き年間を通して“みんなで”クッキングを楽しむ日を設けています。こどもたちは作る楽しさの中に、友だちをたくさん感じて、「みんなで作ったからおいしいね」、「つくってくれて、ありがとう」という気持ちでつながり合う姿があります。今年度も、こどもたちの豊かな心の育ちを願ってクッキング保育に取り組んでいきたいと思っています。

4月19日(金)に“みんなで春を感じるクッキング”をしました。

初めて食材に触れた乳児のこどもたち。興味津々に手を伸ばしたり、笑ったり、目をしばしばしたり、いろいろな表情をみることができました。

年齢が上がるにつれてできることも増えて、幼児ではやりたい思いが溢れている姿がありました。あじさいぐみでは包丁に挑戦しました。大きくなった気持ちでいっぱいなのは、自分でできた思いがたくさん叶うクッキングとなりました。次回は、5月10日にこどもの日みんなでクッキングを楽しみたいと思っています。4月の経験が、もっと楽しくなるような内容を考えていますよ。



食べることは人とつながり生きること

食卓は、『人との関係を食べる場』とも言われています。人とつながる力は、生きる力の土台となります。今年度は、食の場面で見た“つながり”をテーマに、おたよりで紹介できたらと思っています。

<目と目で心を通い合わせて>



スプーンが近づいてくると、必ず保育者の目を見て食べます。安心できる大人と、心を通い合わせている姿です。安心感が、食べる意欲につながります。

<異年齢のつながりの中で>



つくしぐみのこどもがたんぼぼのお部屋へ。つくしさんに見つめられると、“みててね”と、大きな口で食べ始めるたんぼぼさん。大きい自分を感じることで、さらに意欲が膨らむのでした。

